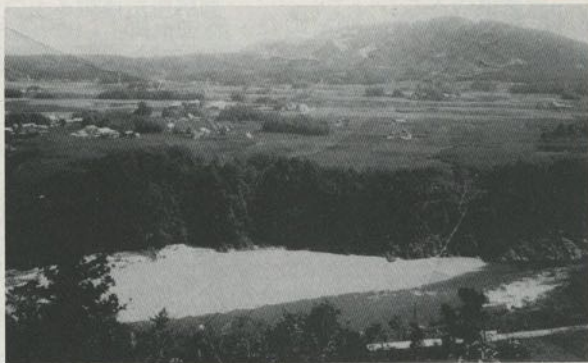


残る
消えゆく



森山から望む下米田（昭和13年ごろ）

地名のはなし

十一

「七ノ坪」のはなし

下米田町には七ノ坪という字名があり、これは田んぼの名前がそのまま地名になったとされています。七ノ坪の「坪」は、古代の条里制によって碁盤の目のように区切られた一区画のことをいいます。数字は並び順に付けられた番号です。

ところで、「七ノ坪」は下米田町の中でも東枋井と為岡の二カ所にあります。その解釈は幾つかありますが、例えば水田を区切るときに、南北を基準にした所と飛騨川を基準にした所があったからではないかと考えられています。